

# 「東北の起業家・事業化支援を行うための 金融機関の会(仮称)」の発足・ご案内



創業時や資金ニーズがある際、今まで接点が殆どなかった起業家や事業者にとっては、金融機関への相談は「ハードルが高い」と思われがちなところがあります。また金融機関に対してどのように相談すればよいのか、という声も多く耳にしてきました。

創業融資、制度融資、クラウドファンディングの活用や理解は、起業家にもある程度浸透してきたものの、「融資」、「出資」、「助成金」、「クラウドファンディング」、「寄付」の各メリット、デメリットを理解の上提案できる方は多くありません。

成功事例がいくつも出てきている中、その成功事例はエリアを超えてまで積極的な共有はされにくい状態です。そのような状態では、起業家や事業者の成長スピードに合わせて適切な支援をすることが十分に発揮できないと考えます。また、地域課題はますます複雑化しており、地域NPOや起業家支援団体、地域課題を解決している企業や団体、自治体とともに他エリア・他団体とも共に連携・協力して解決していくことがこれから求められるかと考えます。

目指したい方向は、東北から新しいビジネスを生み出そうとしている起業家や若者を支援できる体制（起業家を支えるエコシステム）を、金融機関の枠を超えた連携で、また起業家を支援している支援団体や専門家などのネットワークを形成することで、東北発のイノベーションを創出していくことです。まずは、その一歩として、この会を設立するに至りました。

## 1. 目的

東北の起業家創出支援・および事業成長支援を行うこと。金融機関同士による情報交換、金融機関の枠を超えての共同事業の具体案などを議論、実施し、プロジェクトを創発していく場であること。

2. 構成メンバーは、東北に拠点や事業を展開している金融機関、投資ファンド、起業家支援団体等の資金提供、起業家支援を行う企業・団体とし、それに加えて自治体、大学、NPO等の賛同メンバーが入る予定です。構成メンバーは、それぞれの立場で可能な限り貢献することに同意することを要件とします。

### 主体メンバーの発起人（順不同・敬称略）

- ・日本政策金融公庫
- ・盛岡信用金庫
- ・秋田信用金庫
- ・秋田信用組合
- ・いわき信用組合
- ・一般社団法人MAKOTO
- ・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（事務局）

### 賛同メンバー

- ・仙台市
- ・NPO法人ETIC.

## 1. 若年層への金融・起業教育

金融教育を通じて、起業することを恐れない起業家を輩出する。その上で、事業化を加速するためのアクセラレータープログラムを継続的に東北で行っていく。

## 2. ロールモデルの創出・情報発信

投融資の活用を通じて、東北から世界的なベンチャーやユニークな事業のロールモデルとなる会社をつくり、情報発信をすることで追随する起業家を輩出する。

## 3. 地域内外ビジネスマッチングの創出・およびコーディネーションの実施

既存のビジネスマッチングだけでなく、コーディネーションを行うことで、事業規模の拡大や業務効率化、経営者の成長を後押し、応援を行う。

## 4. 自治体・行政が保有する未活用資源の活用

自治体が保有する資産(特に不動産関連)をオープン化し、民間からの活用提案に積極的に受ける窓口を設ける。

## 5. 東北の起業家を支援するための支援者・メンターネットワークの組成・人材育成

様々な専門家・先輩起業家が、支援に関わりやすい体制をつくる、また支援側の育成も行っていく

## 6. 起業家が集う支援拠点の情報集約化、整備、連携のネットワーク組成

支援拠点の特徴を理解し、その場所を金融機関側も、起業家側も上手に使っていくために、情報の共有を行っていく



# 「ベンチャー・チャレンジ2020」の概要

日本経済再生本部「ベンチャーチャレンジ2020」より抜粋

目指すべき2020年の絵姿 / 「地域」と「世界」を直結する。  
「大学・研究機関・大企業等の潜在力」を最大限発揮する。



## 2. 民間による自律的なイノベーションエコシステムの構築

- 大学・研究開発法人、大企業等の潜在力の発揮
- 産学官による世界レベルのグローバル・オープンイノベーションの推進
    - 【世界に通用する研究拠点の整備と大学改革の実行】
      - ・少なくとも5つの大学・研究法人について、世界のトップ人材や企業との共同研究施設を備えた、世界最先端の戦略研究拠点とすることを旨とする。
      - ・企業と大学双方のトップが関与した本格的な産学連携を実施する。
      - ・大学は組織を挙げた産学連携体制を構築し、知財マネジメントを徹底する。
    - 企業から大学・研究法人への投資3倍増を目指す(2025年まで)
  - 世界レベルのイノベーション経営の実現
    - ・経済界によるイノベーション経営の実践とこれを後押しする政策の総動員

## 3. 新たな目標設定

|                        |                   |                                        |  |
|------------------------|-------------------|----------------------------------------|--|
| ベンチャー企業へのVC投資額の対名目GDP比 |                   | 2022年までに倍増<br>(2012~14年の平均 約0.03%)     |  |
| 参考                     | これまでに日本再興戦略で掲げた目標 | 開業率 倍増(2013年度 約5%)                     |  |
|                        |                   | 起業活動指数(今後10年間を見据えた補助指標) 倍増(2014年度 約4%) |  |

当会では、金融機関各社の枠を超えて、東北の創業支援・事業化支援をするため仕組みづくりの集まりです。当会のメンバーは、積極的に意見交換し、実際に実現可能性のあるものに対しては、公私ともに可能な範囲でプロジェクト化して動かしていきます。当会にご参加されたい方を募集しています。是非ご検討ください。

★今後としては以下の内容を実施していく予定

>>全体・および各テーマごとについて、優先事項・重要事項の決定

>>起業家教育事業の実施に向けて、具体的な方法案の検討

>>既に関係性ある起業家支援拠点との情報共有・連携

>>起業家・事業家の金融・資金調達事情の情報発信

>>定期的な勉強会・分科会の実施と、関係機関・団体を巻き込んだ事業計画の策定

>>経済産業省、文部科学省等が募集する起業家育成・事業家支援事業の共同申請

- 2月9日 投融資促進分科会で提案・メンバーの呼びかけ(本日)
- 3月中 初期構成メンバーの確定、目的や実施体制のプレスリリース
- 4月～5月 初期構成メンバーによる初会合
- 6月～7月 経済団体や各省庁、自治体等との意見交換会を実施
- 6月以降 構成メンバーによる継続的な会合

※定期的な情報共有会・勉強会をはじめ、対外的な情報発信、実施報告なども行う。